



Sho Takemitsu Office

-Enjoy your life as you like.-

【「英たの」メルマガ】

「英たの」実践のための 50 のメッセージ

Vol.2

No.51 ~ No.100

著者：竹満 祥

【「英たの」メルマガ】
「英たの」実践のための 50 のメッセージ
Vol.2
No.51 ~ No.100

目次

【著者プロフィール】

【「英たの」五箇条】

No.51 【自分で決めていい。】

No.52 【ワークライフバランス。】

No.53 【ジンベイザメ。】

No.54 【やらなくてもいい。】

No.55 【溜め込むから爆発する。】

No.56 【日本語は越えられない。】

No.57 【歌って身につく。】

No.58 【読書感想文。】

No.59 【他人は知らない。】

No.60 【敷居の高さ。】

No.61 【英語で本を読んでみる。】

No.62 【理想に近づく。】

No.63 【都合がいい人。】

No.64 【中身。】

No.65 【自転車に乗る。】

No.66 【引くのではなく、足す。】

No.67 【食べ過ぎ。】

No.68 【トシ、サッカー好きか？】

No.69 【補助輪付き自転車。】

No.70 【未完成を楽しむ。】

No.71 【「正しい」はない。】

No.72 【入れたものしか出てこない。】

No.73 【生の英語。】

No.74 【梅干。】

No.75 【戻って訳す。】

- No.76 【続かない原因。】
- No.77 【子どもも大変。】
- No.78 【暈の上の水練。】
- No.79 【時間、あります。】
- No.80 【アホやから入れた。】
- No.81 【いい仕事してますねえ。】
- No.82 【食べて、分解して、吸収される。】
- No.83 【一人一理論。】
- No.84 【受験勉強。】
- No.85 【平気になる。】
- No.86 【がんばる理由。】
- No.87 【良いから続くわけではない。】
- No.88 【嫌いなものはいや。】
- No.89 【確率論。】
- No.90 【楽しいからラクになる。】
- No.91 【打算。】
- No.92 【子どもと大人の差。】
- No.93 【ありがとうラン。】
- No.94 【やってみようと思うなら、どうぞ。】
- No.95 【卒業。】
- No.96 【みなさんにもできます。】
- No.97 【余計なモノ。】
- No.98 【「正しい」に固執しない。】
- No.99 【他人から学んだだけではつまりません。】
- No.100 【発想の差。】

【著者プロフィール】

竹満 祥/Sho Takemitsu

1980年、鹿児島県生まれの大阪府育ち。

2002年に立命館大学文学部文学科英米文学専攻を卒業後、1年間の英国留学。

2006年に関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科博士課程前期課程を修了(言語教育学修士)し、東洋アルミニウム株式会社に勤務。

2008年独立し、竹満祥事務所を設立(京都市)。

【「英たの」五箇条】

第一箇条:「楽しいから身につく。好きだから身につく」

「楽しいこと」「好きなこと」に対して人はすてきなほどエネルギーが湧きます。
そのキラキラエネルギーを大切にしよう。

第二箇条:「やり方にこだわらない」

方法は先生が決めるのでも、教材が決めるのでもない。
最良の方法は常にあなたの中にある。
誰が何と言おうとも、あなたはあなたのやり方でやろう。

第三箇条:「学ぶのではなく感じる」

英語は勉強じゃない。
暗記するのではなく、感じてみよう。
「ここでこの単語を使うのかあ」
「この表現はおもしろいなあ」
もっと感じるままに英語と向き合おう。

第四箇条:「評価しない。競わない」

あなたは何のために英語を身につけたいのですか。
英語試験の結果を自慢したいだけなら、もっと他の楽しいことをしよう。
世の中は楽しいことであふれているから。

第五箇条:「強制しない」

あなたにはあなたのやり方がある。
それがすばらしい。
それはあなたの宝物。
だからといって、それが他の人にとってもすばらしいとは限らない。
共有するのはすばらしい。
けれど、強制はやめよう。

No.51 【自分で決めていい。】

「〇〇式英語勉強法」と呼ばれるものがあります。

「〇〇式」という時点で、普遍的な方法ではないことがわかります。

だから、「〇〇式」に縛られる必要はありません。

あくまで、「〇〇さんの方法」ということです。

〇〇さんに気を遣う必要はありません。

〇〇さんのやり方が、あなたにとって最適な方法とは限らないからです。

都合よく「〇〇式」をあなた流にアレンジしたらいいのです。

「〇〇さんの言ったとおりにやったのにうまくいかなかった」と文句を言われるより、「〇〇さんのやり方を自分流にアレンジしたらうまくいきました」と言ってもらえる方が〇〇さんもうれしいはずです。

言われたとおりにする人ではなく、言われたことを自分に合うようにアレンジできる人が、英語を身につけることができます。

【「英たの」実践のために(51)】

アレンジしよう。

【発行】

竹満祥事務所

【竹満祥事務所 HP】

<http://www.good-sheep.com/>

【「英たの」HP】

<http://www.eitano.com/>

【「すきだけ」日記】

http://blog.livedoor.jp/good_sheep/

【「すき本」日記】

http://blog.livedoor.jp/sheep_book/

【「英たの」メルマガ】

<http://www.mag2.com/m/0000269908.html>